

# 天童市議会だより

2012  
2.1  
No. 135  
TENDO



天童南部小の6年生が代々受け継いできた「維新軍楽隊」。功績が認められ、県より「山形ふるさと塾」活動賞をいただきました。これからもふるさとを愛する豊かな心を育てていきます。

## 12月定例会

特集（議会改革・会派）… 3	意見書の提出……………11
一般質問…………… 4～8	行政視察の報告…………12～13
予算特別委員会…………… 9	市民の声……………14
提出議案と結果……………10	



## 市民に開かれた 議会を目指して

議長 水戸 保

市民のみなさまには、健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、日ごろから、天童市議会に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年は、東日本大震災により東北各地で甚大な被害を受け、また、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、本市においても風評被害など多くの影響を受けました。この震災による福島県からの避難者対策など長期にわたる支援の必要性を強く感じております。今回の教訓を生かして、市民のみなさまが安心して生活できますよう、地震や洪水などに対する防災対策に万全を期し、安全・安心なまちづくりを目指していく覚悟であります。

さて、昨年の市議会議員の選挙において、22人の議員が市民の負託を受け当選しました。改めてその職責の重さを実感し、気持ちを引き締めているところであります。

地方自治体の現状は、地方分権社会の到来を受け、自己責任・自己決定による自治体運営が求められており、その力量が試されている時代です。市議会では、市民に開かれた議会を目指して、昨年、議会改革検討委員会を設置して、議会の改革を検討しております。

今後とも、市民のみなさまの期待に応えるべく、誠心誠意尽くしてまいる所存でありますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

副議長

鈴木 照一

議員

武田 正二

水戸 芳美

遠藤 敬知

茂木 孝雄

村山 俊雄

狩野 佳和

松田 光也

矢萩 武昭

山口 桂子

海鋒 孝志

木村 竹虎

赤塚 幸一郎

結城 義巳

後藤 和信

山崎 諭

石垣 昭一

小松 善雄

伊藤 護國

浅井 健一

伊藤 和子

# 12月定例会

## 審議日程

平成23年度第5回市議会定例会（12月定例会）は、11月30日から12月15日までの16日間の会期で開かれました。

工事契約の締結と人事案件の2議案は、初日の本会議で採決が行われました。そのほか、平成23年度一般会計補正予算をはじめとする予算議案9件及び条例議案等8件については、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、各委員会で審査後、最終日の本会議で採決が行われました。

また、最終日の本会議で、委員会提出議案2件、議員提出議案3件が提出され採決も行われました。

（採決結果は10ページ、意見書は11ページ、請願審査結果は14ページに掲載しています。）

月 日	内 容
11. 30	本会議（会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など） 予算特別委員会（正副委員長の互選）
12. 5 12. 6	本会議（市政に対する一般質問）
12. 7	総務教育常任委員会（付託案件の審査など） 環境福祉常任委員会（付託案件の審査など）
12. 8	経済建設常任委員会（付託案件の審査など）
12. 9	予算特別委員会（付託案件の審査）
12. 12	予算特別委員会（討論、採決）
12. 15	本会議（委員長報告、質疑、討論、採決など）

# 議会改革 1

## 議会改革検討委員会を設置

平成23年12月15日に、議会改革検討委員会を設置しました。

議会改革検討委員会では、時代に即した議会を旨として、議会改革の検討項目（議会運営、議員定数等）を整理して



▲ 1月17日に開催した第2回議会改革検討委員会

職名	委員名
委員長	結城 義巳
副委員長	山崎 諭
委員	伊藤 和子
〃	伊藤 護國
〃	赤塚幸一郎
〃	木村 竹虎
〃	矢萩 武昭
〃	松田 光也
〃	狩野 佳和
〃	村山 俊雄

いきます。その後できるだけ早い時期に法令に基づく「議会改革特別委員会」を設置して、議会改革の実現に向けての議論を深めていきます。

検討委員会は、各会派の代表10人（無会派から1人）で構成され、委員は別表のとおりです。また、委員長に結城義巳議員、副委員長に山崎諭議員が互選されました。

結城委員長は「時代の変化と共に、議会も変わらなければならぬ。市民に信頼される議会を目指し、議論を深め改革していきたい。」と、決意を語っています。

また、1月17日に第2回議会改革検討委員会が開催され、各会派等から提案のあった議会改革の検討項目についての内容説明が行われました。

次の議会改革検討委員会は2月10日に開催し、検討項目を整理していく予定です。

今後、議会改革に関する協議内容は、随時議会だよりに掲載していきます。

### 特集

## 議会では 15

今回は 会派 について

天童市議会では、平成13年4月1日から、議会活性化及び内部組織化を推進するため、会派制を導入しています。

この「会派」とは、志を同じくする市議会議員の集まりを言います。所属政党や主義主張を同じくする議員3人以上によって結成され、市議会内における政治的行動をしています。「政党」とは、政治的な目

的を有し、その目的達成のために政治的な活動をする結社で、その結成に対しては政治資金規正法によって規制されています。一方「会派」とは、市議会内部の手続きを踏んで自由に行うことができる点において、「政党」とは別の組織です。

市議会の運営に関する重要な事項は、まず会派内において協議され、次に各会派間に

おいて交渉協議が行われることとなります。本市議会においては、この交渉の場として、各派代表者会を設置しています。

なお、議長は、議員全員に対し中立、公平を保つ意味から、就任期間中は会派を離脱しています。

平成23年10月に届出があった、現在の会派は3つで、構成は別表のとおりです。

### 天童市議会会派構成名簿

平成23年10月5日現在

会派名	議員氏名	役職
清新会 11人	伊藤 護國	会長
	村山 俊雄	幹事長
	鈴木 照一	
	小松 善雄	副会長
	山崎 諭	副会長
	赤塚幸一郎	
	山口 桂子	会計
	矢萩 武昭	
	遠藤 敬知	
	水戸 芳美	
自公・政和会 4人	結城 義巳	会長
	松田 光也	幹事長
	後藤 和信	副会長(会計)
	浅井 健一	副会長
民主市民クラブ 3人	狩野 佳和	代表
	木村 竹虎	副代表
	海鋒 孝志	幹事長(会計)

※会派に所属しない議員：伊藤和子・石垣昭一・茂木孝雄・水戸保（議長）

#### ○天童市議会会派及び各派代表者会規程（抜粋）

- (会派)  
第2条 議員が会派を結成したときは、会派の代表者は、会派結成の日から5日以内に会派結成届を議長に提出しなければならない。以下略。
- 2 前項の会派の結成には、3人以上の所属議員がなければならない。  
(各派代表者会)
- 第3条 天童市議会に各会派間の意見の調整、連絡及び協議等をするため各派代表者会（以下「代表者会」という。）を置く。  
(協議事項等)
- 第4条 代表者会の協議事項等は、おおむね次のとおりとする。  
(1) 会派に関すること。  
(2) 議員の身分に関すること。  
(3) 人事に関すること。  
(4) 各種委員に関すること。  
(5) 慶弔に関すること。  
(6) 前各号に掲げるもののほか、議長が必要と認めること。  
(組織)
- 第5条 代表者会は、各会派の代表者7人をもって組織する。

# 市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、12月5日・6日の2日間の日程で、13人の議員が行いました。市長の選挙公約（マニフェスト）の進捗のほか、防災対策や教育環境の整備等について、市長、教育長等の見解を求めました。

安全・安心

## 災害に強い地域防災体制を



武田正二議員

今回の大震災の教訓から、今後自主

防災会へ知識と技術を普及させるために、市としてどう対応していくのか。支援が必要な高齢者及び障がい者などへの避難支援活動について、自主防災会と行政との役割分担をどう考えているのか。また一時避難場所は十分に確保されているのか。

山本市長 自主防災会への知識・技術の普及については、

非常時の初動活動のマニュアル等の周知や、各種訓練の指導を行うとともに、自主防災組織リーダー研修などにより、リーダーの養成に努めてきた。

また、各自主防災会相互の連携を強化するため、小学校学区ごとに自主防災会連絡会の設立を推進している。今後とも、各自主防災会の判断で、初期消火や救出・救助等の初

動活動を迅速に実施できるよう指導・育成していきたい。

要援護者の避難支援活動については、避難する時間に余裕がある場合は、福祉部局を中心とした要援護者避難支援班が、自主防災会や民生委員等に連絡しながら、消防団等による避難誘導を実施する。災害発生から避難する時間的な余裕がない場合は、自主防災会等に要援護者の避難支援をお願いしている。

一時避難場所は、ほぼ確保されているが、公園などが少ない地域では不足している。地域内の協力により、避難できる場所を確保していただきたいと考えている。



▲消防本部の指導を受け、救出・救助訓練を行う

## 質問者と質問事項（☆印は会派名）

### ★清新会

武田正二議員

\*安全・安心に対する市の取り組みについて  
\*教育環境づくりに対する市の考えについて

水戸芳美議員

\*予約制乗合タクシー（ドモス）の運用について  
\*観光振興アクションプランの運用について  
\*スポーツ振興について

矢萩武昭議員

\*職員の適正管理と市民サービスの向上について  
山口桂子議員

\*新わらべプラン（後期計画）における母子保健事業について  
\*DV被害者のワンストップ支援について

赤塚幸一郎議員

\*天童市の防災について  
\*市長公約（マニフェスト）の達成状況と今後の取り組みについて

伊藤護國議員

\*観光・ものづくり日本一の観光振興について  
\*子育て支援日本一への挑戦について  
\*企業誘致と雇用の確保について

### ★自公・政和会

松田光也議員

\*福島原発事故による放射能被害について

\*西部地域の洪水対策について  
\*合理的な行政組織の機構改革について

結城義巳議員

\*景気・雇用対策について  
\*天童高原整備開発基本構想について

後藤和信議員

\*不育症について  
\*前立腺がんの予防について  
\*心の病の早期発見について

### ★民主市民クラブ

狩野佳和議員

\*天童の観光振興について  
\*モンテディオ山形の応援について  
\*小・中学校のグラウンド整備について

### ★会派に属しない議員

茂木孝雄議員

\*行政改革の推進について  
\*天童市民病院の経営のありかたについて  
\*中心市街地の活性化について

石垣昭一議員

\*東日本大震災の教訓と対策について  
\*今冬の除雪方針について  
\*伊藤和子議員

伊藤和子議員

\*発達障がい児への対応と対策について  
\*国がすすめるようとして「子ども子育て新システム」の状況をどうとらえているのか

## ドモスの現状と

## 運行見直し予定は



水戸芳美議員

市営バスから予約制乗合タクシー（ド

モス）に変わってから1年が経過したが、市はどのように現状を評価し、市民と利用者の意見や要望を集約しているのか。また本市の理想となる運行体系に近づけるため、い

つ見直しを図り、いつから改善された「定路線乗合型・区域乗合型」の運行となるのか。山本市長 22年9月から運行を開始した予約制乗合タク

シーは、23年4月に区域型の導入等を図り、現在、3路線1区域で運行している。山口・田麦野には区域型を導入し、戸口輸送としたため、利

便性は向上しているが、団体の利用の減により、利用者数は、全体的に減少している。

利用者からは、現在の運行の継続を望む声が多い。高齢者からは、通院に適した運行時間帯への変更や増便の要望もあるが、来年度は現在と同じ運行を継続する計画である。

今後の見直しに当たっては、貴重なご意見を参考にし、関係機関と調整しながら、新たな運行形態について、調査検討し、総合的に判断していきたいと考えている。

## 親切な対応で

## 市民サービス向上を



矢萩武昭議員

「職員の育成と勤務評定の実施について

て」評定のないところに人事管理はない。適正な評価の下に適正な市民サービスの提供が可能である。高度な知識・能力よりも、幅広い教養に裏打ちされた親切な対応・接遇

が求められる。「職員の勤務の実態と職員の在り方」について、市長の見解をいただきました。

山本市長 社会経済環境が大きく変化する中、市民の行政に対するニーズは、複雑多様化している。より良い行政サービスを提供し続けるためには、行政のプロとして

時代の変化に的確に対応できる人材の育成や組織マネジメントの改革が重要である。

本市においては、職員の能力を最大限に発揮させて組織の目標を達成するため、22年10月に人事評価制度を導入し、試行している。この制度の導入により、能力・実績に基づ

く人事管理を行うとともに、適材適所の人事配置、職員意識改革、能力開発、勤務意欲の向上などをより一層推進し、公務効率の増進につなげていきたい。

## 5歳児健診の実施について



山口桂子議員

発達障がい

児期にかけて現れ、軽度発達障がいの早期発見は「5歳児健診」が有効と言われている。親の理解も含め、周囲の関わり方により改善され、その子が集団の中で自信を持って生活していけるように、新わらべプランにある計画どおりに進めるべきと考えるがどうか。

山本市長 本市の乳幼児健康診査は、4か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に実施している。健診結果により精密検査や経過観察が必要な場合は、その経過を把握し、必要に応じて定期健康相談等を勧めている。

5歳児健診は、3歳児健診時には発見困難な発達障がいの早期発見を目的として、県内の一部の市町村で実施されている。本市においては、5歳児健診の実施を、「新わらべプラン」に新規事業として位置づけていたが、主体となる専門医や臨床心理士が不足しており、現時点では実施が困難な状況である。

よって、発達障がいの早期発見については、当面、現在実施している巡回訪問を充実するとともに、保護者や保育関係者に対し、発達障がいに関する情報の周知に努めていきたい。



▲乳幼児健康診査で発育・発達をチェック

## 今後の市役所改革の

### 取組みは



赤塚幸一郎議員

市長の選挙  
公約マニフェ  
ストの達成状

況の確認と未達成部分についてどのように進めていくのか。マニフェストの基本となっている市役所改革を行うについては、市民目線から見れば、その効果・評価は低いと言わざる

を得ない。残り任期1年で本気で取り組む必要があると考えるが市長の考えを伺いたい。

山本市長 子育て支援日本一

への挑戦では、中学生までの医療費の無料化をはじめ、多くの新たな施策に取り組んできた。市民満足度・重要度アンケート調査においても、高い評価をいただいている。

次に観光・ものづくり日本

一への挑戦では、「サクランボ結実強化支援」と「不耕起V字溝直播き等の取組支援」については一定の成果を挙げている。「生産物の価格変動補償」については、市単独での実施が困難なため、国や県の制度を活用していきたい。

最後に、市役所改革について

では、事務事業の恒常的な改善・改革を図ってきた。今後私も私が掲げる3つの日本一の実現のため、積極的に市役所改革に取り組んでいきたい。

## 中学校における

### 教育環境の整備は



伊藤護国議員

新築移転す  
る第一中学校  
の施設整備に

ついて、どのような設備にするのか。また老朽化している第二中学校、第三中学校についても、早急に大規模リニューアル工事が必要であると思うが、これらの整備をど

う考えているのか伺いたい。

水戸部教育長 第一中学校の改築に当たっては、生徒が学習に励み、生きる力と深いのある品格を育むことができる学校づくりと、将来の教育環境の変化に対応できる施設を

目指している。基本設計では、通気性を確保しながら教室の配置にも配慮している。暖房

設備では、省エネルギー効果の高いヒートポンプエアコンを導入する計画である。

築後40年を経過している第

二中学校、第三中学校は、リニューアル工事の必要性を感じている。耐震補強工事に合わせて、普通教室等の大規模改造を行いたい。暖房設備は、第一中学校と同様、ヒートポンプエアコンを採用したい。

第四中学校も築後20年を経過し、暖房設備の老朽化が目立つため、他中学校と同様の暖房設備に改修したい。

## 子どもを守るための

### 放射線量測定を



松田光也議員

放射能汚染  
によって、今  
後起こりう

る、あらゆる問題を想定した安全で安心できる生活環境の確保を図るべきである。また、子どもを守るために地上1メートルの高さで測定している国と県の指導は、子どもの安全を考慮したものではないと思う。子どもを守る放射線量測定をすべきと思うが、市長の考えを伺いたい。

山本市長 市内の放射線量の

測定については、5カ所の定点観測のほか、学校のグラウンド及びプールにおいて実施している。23年11月1日から、保育園、幼稚園、小学校、中学校のほか、人が集まる各施設において、文部科学省が示すガイドラインに基づき、放射性物質がたまりやすい側溝や雨樋を中心に測定している。



▲小・中学校の敷地内で放射線量を測定

国のガイドラインでは、測定する高さは、地表から1メートルの地点であるが、本市においては、万全を期すために1メートルのほか、50センチの高さでの測定も実施している。適正な測定方法に係る専門的な事項については、今後とも、国・県のガイドライン等を参考にしながら、市民の安全・安心の確保に努めていきたい。

## 雇用対策

# 給与低所得者の雇用問題解決へ



結城義巳議員

平成16年3

月に労働者派

遣法が施行さ

れ、製造業の現場へも派遣が可能となり、年収200万円以下の労働者が多くなった。全国では給与所得者の23%、天童市では41%にも達している。給与が低く、結婚もでき

ない現状にある。労働者派遣関係法令の改正を全国市長会等で主張してほしい。

山本市長 労働者派遣法は、

派遣会社や派遣先企業が守るべきルールを定めた法律である。この法律は昭和61年に施行され、その後平成16年3月から、港湾業務、建設業務、警備業務を除くほとんどの職

種で派遣労働が可能となり、派遣できる仕事の種類が原則自由化され、企業側が派遣労働者を使いやすい環境が整備された。

派遣労働者の様々な問題を解消し、派遣事業の適正な運営確保と派遣労働者の雇用安定、福祉の増進のため、派遣元及び派遣先双方での法令順守の徹底が必要である。市としては、国民的な幅広い議論を経たうえで、適切な派遣労働者の保護が行われるよう働きかけていきたい。

## 不育症

# 不育症対策の充実について



後藤和信議員

胎児の染色

体の異常や子

宮の奇形など

の原因で、流産や死産を2回以上繰り返し、その結果として子どもを授かることができない家族がいる。多くの市民に不育症を知っていただくために、①市報等での周知をす

べきでないか。②気軽に相談できる体制を整備すべきと考えるがどうか。

山本市長 不育症治療は、一

般にはまだ認知度が低く、専門医療機関も少ないのが現状である。周知の方法も含めて、国などの動向を踏まえ、適切に対応していきたい。また、不育症治療は、特定不妊治療

とともに、少子化対策の一つの方策と認識しているが、国・県の助成制度も整備されていないことから、現時点での経済的な支援については、困難と考えている。

相談業務については、妊娠届出の受理に際して保健師等が対応に当たっている。相談では、妊娠や出産、育児に対する不安の解消などについて、きめ細かな助言や指導を行っている。不育症を含め、妊娠、出産に関する精神的な支援を、今後充実していきたい。

## 学校整備

# 小・中学校グラウンドの整備について



狩野佳和議員

市内の一部

の小・中学校

のグラウンド

は水はけが悪く乾きも遅い。計画では暗渠工事の予定だが、同時に①大震災時の収容避難場所のため、生活用水として利用する雨水を溜める地下貯水槽を造り、②外で遊ぶ子どもの安全・安心のため、裸足の教育のため、フィールドを芝生化する考えはないか。

水戸部教育長 小・中学校の

グラウンドは、年次計画により、順次、排水の暗渠工事等

を行い整備している。現在未整備の学校は、長岡小、天童南部小、高揃小、成生小の4校である。災害時の生活用水を確保する場合は、プールの水を利用することが考えられる。また、19年8月に、本市と天童地区地下水利用対策協議会の事業所との間に、自然災害が発生した場合の生活用水を確保する目的で、協定を締結している。災害時には無料で生活水の提供も可能であるため、グラウンドに貯水槽を設置する必要性は低いと考えている。

また、グラウンドの芝生化には、メリットとデメリットがある。デメリットとして、定期的に芝の養生期間を設ける必要があるため、1年間を通してグラウンドを使用できないことが懸念される。維持費や手間も要することから、芝生化については現時点では難しいと認識している。



▲小・中学校グラウンドの暗渠工事

## 医師確保のための 抜本的な対策は



茂木孝雄議員

市民病院の  
累積欠損額は  
26億円と巨  
額。医師不足の状況下、改革  
プランの達成は厳しく、赤字  
基調は続く。市民満足度の高  
い診療体制にもなっていない。  
赤字構造のまま、中途半端な  
病院経営を続けることを市民

は許容できない。市長と病院  
事業管理者は、医師確保のた  
めの抜本的な施策をどう実行  
していくのか伺いたい。

**松本病院事業管理者** 市民病  
院は、22年度に経営形態を見  
直し、地方公営企業法の全部  
適用を行った。医療機関との  
連携強化をはじめ、3つのプ  
ロジェクトを立ち上げ、効率

的な病院運営に努めている。

22年度は、前年度に比べ入  
院及び外来患者数が増加し、  
約1億5000万円の経営改  
善となった。深刻な医師不足  
の解消が、改革プランの早期  
達成に必要不可欠である。山  
形大学への協力要請などの対  
策を講じているが、成果に結  
びついていない。医師確保が  
困難な理由の一つに、他公立  
病院と比べて報酬が低いこと  
もある。医師の待遇改善  
を図り、新たな医師の確保に  
向けた整備を進めたい。

## 発達障がい児への 対応とその対策について



伊藤和子議員

臨床心理士  
による巡回発  
達相談の実態  
と、その後の対応は。特別児  
童扶養手当の認定をする医療  
機関が限られており、6カ月  
待ちの状況にあるが、改善を  
図る必要があるのでは。

また、発達障がい児の保育  
園・児童館、学校、学童保育  
所での現状と対応は。

**山本市長** 本市では、18年度  
から臨床心理士等が市内の保  
育園、幼稚園等を訪問して、  
相談を受ける巡回発達相談事  
業を実施している。今年度は、  
延べ100人程の児童の相談  
を受け、その後、80人程の児  
童が臨床心理士と面談し、発  
達障がいの改善に効果があつ  
た。また、小・中学校への特  
別支援教育専門家による巡回  
相談は、各校で年2回実施し  
ている。今後とも幼児教育機  
関等と小学校の連携をさらに

充実させていきたい。  
特別児童扶養手当の認定が  
長期間を要する問題につい  
ては、現状の改善に向けて、県  
に対し要望していきたい。  
身体障害者手帳等を所持し  
ている児童が保育園等に入所  
している場合は、当該児童1  
人につき1人の担当保育士を  
配置している。また、学校に  
おいて障がいの判定・診断を  
受けた児童・生徒がいる場合

は、個別の支援計画等を作成  
し、個々に応じた支援を行っ  
ている。人的には、県の加配  
教員を配置するほか、市のす  
こやかスクール支援員等を配  
置している。さらに、放課後  
児童クラブに障がい児が入所  
している場合は、県の補助基  
準に基づき、補助金を交付し  
ている。今後とも障がい児の  
対応については、小学校と放  
課後児童クラブとの間の情報  
を共有しながら連携を図って  
いきたい。

## 放射線量測定 の計画と結果の公表は



石垣昭一議員

放射能汚染  
の実態を正確  
に把握するこ  
とを

はホームページに掲載したと  
しているが、今後の測定計画  
と公表・周知のあり方につい  
て伺いたい。

**山本市長** 放射線量の測定に  
ついては、23年7月から市内  
の5カ所での定点観測等を行  
っている。また昨年11月中  
に、市内の小・中学校、学童  
保育所、保育園、幼稚園、公

民館などの98施設において排  
水溝や雨樋などのほか、市内  
の公園116カ所についても  
地表から1メートルの高さと、50センチ  
の高さでも測定している。今  
後は必要に応じて、その他の  
場所においても測定を検討し  
たい。

市では、放射線量の測定結  
果を市民に公表・周知するた  
め、ホームページや市報を活  
用するとともに、マスコミに  
公表することにより、広く周  
知されるよう努めていること  
である。

とは、放射能防護の体制を整  
えるうえで極めて重要である。  
本市の独自調査は、子どもが  
近づく場所、側溝などホット  
スポットになりやすい所を集  
的に調査し、市民への周知



▲予算特別委員会での審査

# 予算特別委員会

## 23年度一般会計補正予算

1億9822万8000円を  
減額補正

一般会計1億9822万8000円を減額する補正予算及び各特別会計等補正予算8件は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。

審査の主なものは次のとおりです。

### 被災児童・生徒就学支援等 援助及び補助の内容は

**委員** 学校給食費の年間一人当たりの補助限度額（完全給食の場合は、小学校が5万1000円、中学校が5万8000円）で、給食費は賄えるのか。東京電力の補償の有無に関わらず支給されるのか。

**教育総務課長** この支援制度は、東京電力の補償に関係なく、全額国費対応となる。給食費のほか、学用品費等についての補助限度額もあり、この範囲内で対応できる。

**委員** 被災児童生徒就学援助事業の児童・生徒一人当たりの限度額及び単価の基準は、1カ月単位で計算するのか。

**教育総務課長** 国が算定した

単価は年額であるが、児童・生徒一人一人の状況に応じて、補助額を月単位で計算して支給するものである。

### 定期予防接種 委託料の増額内容は

**委員** 定期予防接種委託料が750万1000円増額となっているが、その理由は。

**子育て支援課長** 本来、麻しん、風しんの4期は、高校3年生で接種しているが、高校2年時に修学旅行で海外へ行く場合は、高校2年で予防接種をすることになった。この分として80人分、76万3000円を増額している。また、日本脳炎は、国の接種勧奨年齢が、3、4、9、10歳であるが、それ以外の児童も接種している実態に応じて増額しているもの。

### 農林水産業創意工夫 プロジェクト支援は

**委員** 農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業費494万円の内容は。

**農林課長** 県事業の新しい取り組みに対する補助で、21年

度から取り組んでいる。今回は、「高橋とも補償協議会」のそばのコンバイン1台と、そばの乾燥調製施設一式導入に対する3分の1の補助額である。

### 天童古城の整備費 増額の内容は

**委員** 天童古城地区の整備に要する経費1億円を増額する内容と理由は。

**都市計画課長** 来年度は、県内で社会資本整備総合交付金事業の新規事業箇所が多く、予定額全額の内示が難しいとの連絡があり、前倒しして今年度に予算化したものである。内容は現在進めている愛宕

沼の親水空間整備の植栽や園路工事で、来年度へ繰越明許を予定している。

### 市営住宅の修繕費 増額の内容は

**委員** 市営住宅の管理に要する経費の修繕費254万8000円増額の内容と修繕する住宅はどこか。

**建設課長** 東日本震災後に市営住宅の点検を行い、経年劣化による修繕箇所が見つかり修繕を行ったところ、既決予算に今後不足が見込まれるための増額である。久野本第1住宅、日光住宅、交り江住宅のトイレ、浴槽などの水回りの修繕を予定している。

### 予算特別委員会 正副委員長の互選

11月30日に開催された予算特別委員会において、委員長及び副委員長が互選されました。なお、予算特別委員会は議長を除く全議員で構成されています。

委員長 後藤 和信  
副委員長 村山 俊雄

### 一般会計補正予算(第4号)のあらまし

補正額 ▲1億9822万8000円  
予算総額 202億8784万8000円

◆主な内容 (単位：千円)

子ども手当の支給に要する経費	▲183,461
障がい児自立支援の給付に要する経費	1,248
私立保育所に要する経費	5,453
放課後児童クラブに要する経費	7,885
農道の整備に要する経費	9,050
常備消防活動に要する経費	725
消防団の活動に要する経費	24,237

# 議会のうごき

## 10月

- 24日 民主市民クラブ研修（全国自治体病院経営都市議会協議会研修）、環境福祉常任委員会研修会
- 25日 経済建設常任委員会所管現地調査
- 26日 各派代表者会、全員協議会（会議の持ち方について）、市長要請全員協議会（子育て支援施設整備計画について）
- 27日 経済建設常任委員会研修会
- 27～28日 総務教育常任委員会研修会

## 11月

- 1日 山形県市議会議長会議会報研修会（鶴岡市）
- 7日 各派代表者会
- 9日 自公・政和会研修（地方議員のための議会基本条例講座）
- 9～11日 環境福祉常任委員会行政視察（東大阪市ほか）
- 10日 市長要請総務教育常任委員会（消防団再編成について）、ラ・フランスのトップセールス（大田市場、日本橋高島屋／議長、市長）
- 11日 全国市議会議長会第91回評議員会（日本都市センター／議長、局長）
- 14～16日 総務教育常任委員会行政視察（加古川市ほか）
- 15～17日 経済建設常任委員会行政視察（蒲郡市ほか）
- 16～17日 山形県市議会議長会定期総会（新庄市／議長、副議長、局長）
- 21日 広報委員会
- 22日 国と地方の協議の場等に関する特別委員会（日

- 本都市センター／議長、局長補佐）、議会運営委員会
- 25日 市長要請環境福祉常任委員会（市民病院医師の待遇改善について）
- 28日 総務教育常任委員会所管事務調査（一中改築についてほか）
- 29日 東根市外二市一町共立衛生処理組合全員協議会及び定例会
- 30日～12月15日 第5回市議会定例会
- 30日 予算特別委員会、各派代表者会、広報委員会

## 12月

- 7日 市長要請総務教育常任委員会（山形定住自立圏共生ビジョンについて）、環境福祉常任委員会所管事務調査（保育園の現状について）
- 8日 議会運営委員会
- 12日 議会運営委員会、全員協議会（議会改革について）、各派代表者会
- 14日 議会運営委員会
- 15日 議会改革検討委員会（正副委員長の互選）、広報委員会
- 22日 広報委員会

## 1月

- 17日 広報委員会、各派代表者会、議会改革検討委員会
- 19～20日 茂木議員（無党派）研修（事業仕分けと議会・議員の役割講座）
- 23日 国と地方の協議の場等に関する特別委員会（全国都市会館／議長、局長）
- 24日～25日 自公・政和会行政視察（龍ヶ崎市ほか）

## 提出された議案とその結果

### （市長提出議案）

議案番号	件名	結果
報第16号	市有施設管理上の瑕疵による事故に伴う損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報告
議第27号	平成23年度天童市一般会計補正予算（第4号）	原案可決（全会一致）
議第28号	平成23年度天童市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
議第29号	平成23年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
議第30号	平成23年度天童市欽ノ町土地地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
議第31号	平成23年度天童市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
議第32号	平成23年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
議第33号	平成23年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
議第34号	平成23年度天童市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議第35号	平成23年度天童市市民病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決（全会一致）
議第36号	天童市斎場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決（全会一致）
議第37号	天童市スポーツ振興審議会に関する条例の一部改正について	原案可決（全会一致）
議第38号	天童市農業委員会委員の選挙区及び定数に関する条例の一部改正について	原案可決（全会一致）
議第39号	天童市森林情報館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決（全会一致）
議第40号	天童市公共下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について	原案可決（全会一致）

議案番号	件名	結果
議第41号	山形広域行政協議会の廃止に関する協議について	原案可決（全会一致）
議第42号	荒谷西工業団地の分譲地の処分について	原案可決（全会一致）
議第43号	市道天童高原線道路改良工事請負契約の締結について	原案可決（全会一致）
議第44号	市道の認定及び廃止について	原案可決（賛成多数）
議第45号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意（全会一致）

### （委員会提出議案）

議案番号	件名	結果
委員会提出議案第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決（全会一致）
委員会提出議案第4号	日本海国土軸の構築と社会資本整備を求める意見書の提出について	原案可決（全会一致）

### （議員提出議案）

議案番号	件名	結果
議員提出議案第2号	原子力発電所の警備に関する意見書の提出について	原案可決（賛成多数）
議員提出議案第3号	サイバー攻撃・情報保全対策に関する意見書の提出について	原案可決（全会一致）
議員提出議案第4号	APECでのTPP交渉参加表明に抗議する意見書の提出について	原案可決（賛成多数）

# 東根市外二市一町共立衛生処理組合 (クリーンピア共立) 議会報告

## 各市町の負担金が確定

平成23年11月29日、東根市外二市一町共立衛生処理組合議会が東根市議会議場で開催され、平成23年度の各市町の負担金が確定しました。各市町の内訳は下表のとおりです。

前年度に対して全体で8.6%の減でした。なお、天童市は9.8%の減となり、市民の皆さんの環境意識の向上がうかがえます。

## 補正予算など5件が可決

補正予算は、2億1163万9000円減額し、歳入歳出予算の総額21億6130万4000円とするもの。

減額の大きな要因は、し尿処理施設改造工事の非常用発電設備部分が、東日本大震災の影響で全国的に受注が多く、納期が遅れ、繰り延べになったことによるもの。

また、監査委員に天童市議の狩野佳和氏を選任しました。

## 平成23年度構成各市町負担金確定額

(単位：千円)

市町名	H23年度 (前年比)	H22年度	H21年度
天童市	267,715 (90.2)	296,804	306,741
東根市	205,513 (92.1)	223,265	235,651
村山市	109,696 (92.8)	118,233	129,023
河北町	94,083 (92.1)	102,104	109,520
合計	677,007 (91.4)	740,406	780,935

## 人権擁護委員に同意

人権擁護委員の三武千種氏が平成24年3月31日をもって任期満了になることから、伊藤栄子氏(山口)を後任の委員として推薦することに同意しました。

## 意見書の提出

12月15日の本会議において委員会提出意見書2件、議員提出意見書3件が提出され、採決の結果、原子力発電所の警備に関する意見書とAPECでのTPP交渉参加表明に抗議する意見書については賛成多数、その他の意見書については全会一致で可決され、意見書は直ちに関係機関に送付されました。

### 《委員会提出》

**地方財政の充実・強化を求める意見書(要約)**

大震災被害自治体及び近隣自治体が要する復興費については国の責任において確保するとともに、地方財政の充実・強化を図るため、税源移譲と地方交付税の確保、地方消費税の充実、国の直轄事業負担金の見直しなど抜本的な対策を進めること。

(提出先・内閣総理大臣ほか)

### 《委員会提出》

**日本海国土軸の構築と社会資本整備を求める意見書(要約)**

日本海側と太平洋側の国土軸を均等に整備することによって、災害に強い国土の形成、さらには強固な経済基盤が構築できる。日本海国土軸の早期構築に必要な不可欠な社会資本整備を早急に図ること。

(提出先・衆議院議長ほか)

### 《議員提出》

**原子力発電所の警備に関する意見書(要約)**

原子力発電所に対するテロ対策が必要であるが、我が国の法体系・警備体制は十分とは言えない。原発施設を含めた重要施設の警備について、自衛隊の任務に加えるなど、警備体制を早急に検討し、実現できるものは早急に実現すること。

(提出先・衆議院議長ほか)

### 《議員提出》

**サイバー攻撃・情報保全対策に関する意見書(要約)**

政府機関等を狙ったサイバー攻撃が明らかになり、我が国の重要な情報がサイバー攻撃により海外に流出することは国益に大きな影響がある。サイバー攻撃から国民の安心・安全を守るため、積極的に対策を構築すること。

(提出先・衆議院議長ほか)

### 《議員提出》

**APECでのTPP交渉参加表明に抗議する意見書(要約)**

政府のTPP交渉参加表明に抗議する。また、政府はTPPに対する国民的議論が熟すよう、交渉で得られた必要な情報は速やかに明らかにし、TPPの利点、不利となる点、国益上の危機を分かりやすく国民に説明すること。

(提出先・内閣総理大臣ほか)

# 視察の報告

本市議会では、先進的で魅力ある行政施策を実施している自治体などへの視察を行っております。

行政視察の成果は、市議会の中で、本市が抱える行政課題の解決や、市への提言等に反映され、今後のまちづくりに生かされています。

今回実施した行政視察の内容をご報告します。

## 総務教育常任委員会

11月14日～16日

### 《兵庫県加古川市》

#### 市立公民館の指定管理

人口27万人の加古川市は4人のプロ棋士を輩出する「棋士のまち」である。加古川市には、12の市立公民館が設置



▲公民館の運営を視察（加古川市）

されているが、1館（別府公民館）のみ、平成19年4月から指定管理制度を導入した。別府公民館の運営団体は、地元町内会が母体となる管理運営委員会である。地域の各種団体などで構成する評議会20人がこの運営委員会内に組織されている。

地域住民の認知度・愛着度が高く、地域住民のニーズに直結した公民館運営が高く評価されており、本市の参考となる点が多数あった。

### 《兵庫県小野市》

#### 市役所改革、行財政改革

「住むならおの」をキャッ

チフリーズにしている小野市の人口は4万9685人。「行政に民間の感覚と感性を」と掲げた市長選で現市長が当選し、現在4期目。以来、次の4つの柱に基づく行政経営に取り組んでいる。

- ・顧客満足度志向
- ・成果主義
- ・オンリーワン
- ・先手主義

行政も経営で、より高度で高品質なサービスをいかに低コストで提供するかという基本理念を徹底している。市長・副市長が強力なリーダーシップを発揮し、様々な改革を実践していた。

### 《京都府八幡市》

#### 文化財の保護と活用

平安時代に創建された石清水八幡宮の門前町として栄えた八幡市の人口は、7万4246人。石清水八幡宮を国指定文化財とするため、平成19年度から本格的に取り組み、ようやく今年度国指定文化財の指定を受けた。

文化財の保存や新たな文化財の調査・整備は、基本計画を策定して取り組んでいる。文化財の保存のため、民家に保管されている古文書も含めてデータベース化を行い、文化財を活用するため、体育協会と連携して歴史散策事業等を実施している。郷土史の研修団体育成も行い、市内観光地には、ボランティアが配置され、その対応は丁寧で素晴らしいかった。

## 環境福祉常任委員会

11月9日～11日

### 《大阪府東大阪市》

#### 地域子育て支援センター事業

平成22年4月にオープンした旭町子育て支援センター「あさひっこ」は、地域の子育て支援の中核的な役割を果た

している。地域の子育て支援の情報提供など、わいわい広場では、手作りおもちゃ等で、親子のふれあいや子育ての輪が広がっている。親子が孤立しないように地域の子育て拠点になっている。

### 《徳島県鳴門市》

#### 徳島ヴォルティスの支援

徳島ヴォルティスは、来期J1昇格を目指している。行政としての負担は少ないが、市民を無料で招待する「鳴門

コンパクトながら機能的であたたか味のある施設で大変参考になった。

市民デー」を開催し、選手が地域のお祭りやイベントに参加し住民との交流を活発に行っている。

ホームスタジアムがある市として、多くの市民を渦潮のように巻き込みながらのムードづくりが参考になった。

#### 女性子ども支援センター

配偶者暴力支援センター機

常任委員会	視察先	視察内容
総務教育 常任委員会	兵庫県加古川市	市立公民館の指定管理について
	兵庫県小野市	市役所改革、行財政改革について
	京都府八幡市	文化財の保護と活用について
環境福祉 常任委員会	大阪府東大阪市	地域子育て支援センター事業について
	徳島県鳴門市	徳島ヴォルティスの支援について 女性子ども支援センター「ばあとなー」について
	大阪府池田市	総合窓口サービスについて
経済建設 常任委員会	愛知県蒲郡市	創造的事業活動支援制度について
	兵庫県赤穂市	観光アクションプログラムについて
	京都府長岡京市	都市景観形成について

# 常任委員会 行政



▲赤穂城跡で説明を受ける（赤穂市）

**《愛知県蒲郡市》**  
創造的事業活動支援制度  
繊維工業が盛んな蒲郡市で、先進的・独創的な技術やノウハウを研究開発し、それを事業化していく中小企業に対し

## 経済建設常任委員会

11月15日～17日



▲総合窓口サービスを視察（池田市）

能を備えた「ばあとなー」は、平成23年度から女性子ども支援センターとなり、家庭児童相談員を2名配置し、DV被害者と子どもの同時支援を確立している。  
住民生活に密着している市役所でのワンストップ支援、心寄り添う支援として、わかりやすい窓口の工夫が大切だ

と思った。

## 《大阪府池田市》

### 総合窓口サービス

市民サービスの向上と行財政改革を実現するために、部と課を統合し、スリムで効率的な組織に再編成した。また、異動に関する届出受付業務と証明書発行業務を分離し、ワ

ンストップで行える総合窓口課を新設した。また、プロポーザルで委託業者を募集し、23年7月から民間の会社に総合窓口業務を全面的に委託し、それにより職員も削減された。個人情報も厳しく管理されており、効率的な組織運営と働きやすい設備、配置、動線が理想的と思われた。

て、市として独自に支援していくもので、補助率3分の2以内で、技術研究開発に必要な原材料や資材が対象となる。これまで14の企業が支援を受け、人工培養皮膚の開発からミカンの有望品種育成まで様々であった。

結果的には商品化できなかったものもあるが、創造的な研究開発をしていく中小企業の積極的な姿勢は評価すべきで、本市でも積極的に取り入れてほしい制度であった。

## 《兵庫県赤穂市》

### 観光アクションプログラム

赤穂市が全国に誇る「忠臣

## 《京都府長岡京市》

### 都市景観形成

市内全域において◎西山を

蔵のふるさと」と「塩のまち」といった従来のイメージ以外に光を当て、赤穂の多彩な魅力を再発見する目的で作成された。JR赤穂線沿線各市と連携した「牡蠣まつり」などのグルメや広域観光による大阪・京都方面からの日帰りの誘客に力を入れている。

岡山県にまたがる定住自立圏構想による広域観光、集客力の大きいJRのプラン、観光協会でのキャラクター制作など、各種団体とのチームプレイによる事業の推進は、本市も見習うべきことが多いと感じた。

大切にし、どこからも見える街並み（場所異なる建物の高さ制限）◎西山から市街地への緑の流れ（建築物等を郷土色への誘導）などを行っている。

建築確認申請は年間約400件で、中にはオレンジ色の屋根を希望する人もいるが、趣旨を説明して協力してもらっている。新築の住宅等に規制がかかるので、建物が全て立て替えになる50年先を見越した街づくりを目指しているという。

本市の古城西地区（三日町・五日町）では外壁を白系に統一するなど同系統の景観ができてつつあるが、本市も今後、景観計画を検討していくべきと感じた。

# 市民の声

私が住んでいる八千代台は、できてから30年にも満たない新しいまちです。昭和59年12月から入居が始まり、集う公民館もなく小さな出会いから始まりました。地元荒谷の御厚意や議員さんのお力をいただき、今では180戸近い集落になりました。

## 市議会を傍聴して 想うこと

山本 英子(八千代台)

河川敷は八千代台ボランティアグループの方々の手で整備されています。春には桜が咲き、秋の草紅葉も捨てがたい美しさを魅せて、サイクリングやウォーキング、芋煮会などを楽しむ人々にぎわっています。先日、12月定例会において、一般質問を傍聴させて

いただきました。初めて見る議場に緊張感を覚えながら傍聴席に着きました。山口桂子議員の乳幼児健康診査、DVサポートなどは興味深く、防災関係は身近な問題でした。赤塚幸一郎議員と伊藤護國議員は、市長公約の検証のほか、観光振興、子育て支援などについての質問でした。観光について、大震災の風評被害で特に農家はサクランボシーズン時の痛手の大きさを押し量りながら聞き入っていました。

短い時間ではございましたが、地域に密着した身近な問題を熱心に議論しながら決められて、まちの発展や私達の生活があるのだと感慨深く思いました。昨年は辛いニュースが多い年でしたが、今年は再生のエネルギーで活気あふれることを願っております。

## 請願・陳情の結果

今定例会で審査された請願・陳情は1件で、所管常任委員会  
で審査したあと、結果は次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
地方財政の充実・強化を求める 請願	連合山形地域協議会 議長 大城 啓	総務 教育	採択 (全会一致)

## インターネットで議会中継

天童市議会では、本会議をインターネットで生中継しています。また、約1週間後には録画でもご覧いただけます。市議会の詳しい内容(議会構成、議員名簿、会議録、議会だより等)は、ホームページでご確認できます。

で

## 広報委員会からのお願い

分かりやすい「議会だより」の編集を目指しています。編集の参考に使わせていただきますので、ご意見・ご感想をお寄せください。

## 編集後記

● 昨年の3月11日の東日本大震災は、国民の生活に大きな影響をもたらしました。その傷跡は未だ癒えることなく、国の救済策にも大きな課題を残しております。

● 市議会でも、防災対策の強化を求める声が相次いだ一年でした。「天災は忘れた頃にやってくる。備えあれば憂いなし」という言葉を改めてかみしめたい。

● 議会改革検討委員会がスタートしました。「議会活動の更なる活性化」「議員定数のあり方」等々について幅広い議論の下で、実りのある成果が期待されます。

### 「広報委員会」

委員長	狩野 佳和
副委員長	矢萩 武昭
委員	伊藤 和子
〃	結城 義巳
〃	遠藤 敬知
〃	武田 正二

## 3月定例議会の日程(予定)

- 2月28日(火) 本会議(初日)
- 3月2日(金) 本会議(一般質問)
- 5日(月) 本会議(一般質問)
- 6日(火) 常任委員会
- 7日(水) 常任委員会
- 8日(木) 常任委員会
- 9日(金) 予算特別委員会
- 12日(月) 予算特別委員会
- 13日(火) 予算特別委員会
- 14日(水) 予算特別委員会
- 15日(木) 予算特別委員会
- 21日(水) 本会議(最終日)

※請願の締め切りは、2月20日(月)正午までの予定です。

※なお、日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

